

アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」について

一般社団法人チカク
代表理事 赤木美子
080-2900-8109

「ハンスの冒険」は アンデルセン童話をモチーフに、童話の故郷・岡山県で、1997 年に誕生したファミリー・ミュージカルです。

親子三世代が楽しめるこの作品は、脚本・音楽・衣装・キャラクター設定も含め、すべて書き下ろしで制作されたもので、岡山県倉敷市の倉敷チボリ公園を訪れるこどもたちのために、1997 年のグランドオープンから4年間毎日、園内のこども劇場で上演され、多くの人々に愛されてきました。

2008 年末をもって倉敷チボリ公園は閉園いたしました。この作品の誕生や、その後の運営にかかわり、見守り続けてきた数名の有志があつまり、このたび、製作実行委員会を組織し、この作品が上演できる環境を整え、みなさまに再びお目にかけることができるようになりました。

このすばらしいミュージカルをぜひ、ご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

【概要】

- タイトル** … アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険 ～はだかの王様編～」
- 内 容** … 三世代がいっしょに楽しむことができるファミリーステージ
- 所要時間** … 休憩時間も含め、約1時間20分
(ミュージカル30分 + 休憩 + ハンスと遊ぼう の場合)
- 会場仕様** … 300人程度の小劇場
※仕様により若干演出方法を変更する場合があります。
- 対 象 者** … 幼児からお年寄りまで
- 公演実績** … 2010年5月8日(土)～9日(日) 川崎・しんゆり芸術祭
主催は、同芸術祭実行委員会で、大人2,000円、こども1,000円で実施。

参考資料

- …
- 2010.3.30付 山陽新聞社記事「復活公演」 P.2
2010.2.1付 制作関係者による実行委員会趣意書
 - 2010.5.8-9 川崎・新百合ヶ丘での復活公演について P.3-5
 - 2008年資料 ハンスの冒険をまだ知らないあなたのために P.6-7
 - 2008年～2010年資料 ハンスの冒険のキャラクターたち P.8
 - 山陽新聞より、関連記事 3点 P.9-10



2010年3月30日

山陽新聞 全県版 閉園後の復活公演の記事

第3種郵便物認可

チボリ人気ミュージカル

「ハンスの冒険」復活

5月、川崎で公演

チボリの人気者ハンスが帰ってくる。倉敷市寿町にあった倉敷チボリ公園で人気を集め、2008年末の閉園とともに封印されていたミュージカル「ハンスの冒険」が復活する。製作・運営に携わった当時の関係者が実行委員会を設立。5月に川崎市で行うリバイバル公演に向け準備を進めている。(大橋洋平)



倉敷チボリ公園で人気を集めていたミュージカル「ハンスの冒険」の一場面。2007年1月

閉園に伴い、著作権などの問題が絡むため、旧運営会社チボリ・ジャパン社は劇の封印を決め、衣装や小道具などを処分。しかし横山氏やチボリ元社員ら有志が「このままではもったいない。再び子どもたちに見てもらおう」と復活に向け奔走。2月上旬に製作実行委を立ち上げ、協議を重ねた。

今回のストーリーは、第1作を中心に再構成。少年ハンスがカエル王子のヒビ

ハンスの冒険は1997年の閉園時から上演されたオリジナル劇。経営再建策の一環で02年にいったん廃止されたが、根強い人気に支えられて再演を繰り返し、文化庁芸術祭賞などを受賞した横山由和氏の脚本・演出で第3作まで製作された。

元チボリ社員で実行委メンバーの赤木美子・NPO法人チカク代表理事は「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えてくれる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と話している。

公演は5月8、9の両日午前11時と午後2時、川崎市の昭和音楽大北校舎第1スタジオで開催。全席自由で大人2千円、4歳〜中学生千円。問い合わせは赤木代表理事（080-29900811）。

キャスト

元チボリ社員で実行委メンバーの赤木美子・NPO法人チカク代表理事は「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えてくれる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と話している。

元チボリ社員で実行委メンバーの赤木美子・NPO法人チカク代表理事は「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えてくれる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と話している。

元チボリ社員で実行委メンバーの赤木美子・NPO法人チカク代表理事は「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えてくれる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と話している。

元チボリ社員で実行委メンバーの赤木美子・NPO法人チカク代表理事は「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えてくれる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と話している。

2010年2月1日

「ハンスの冒険」製作実行委員会 設立趣意書

ファミリーミュージカル「ハンスの冒険」製作実行委員会 設立趣意書
ハンスの冒険をまだ知らない、未来の子どもたちのために。

「ハンスの冒険」は アンデルセン童話をモチーフに、童話の故郷・岡山県で、1997年に誕生したファミリー・ミュージカルです。

脚本・音楽・衣装・キャラクター設定も含め、すべて書き下ろしで制作されたもので、岡山県倉敷市の倉敷チボリ公園を訪れる子どもたちのために、1997年のグランドオープンから4年間毎日、園内のこども劇場で上演され、子どもから大人まで多くの人々に愛され、親しまれてきました。

残念ながら、2008年末をもって倉敷チボリ公園は閉園いたしました。この作品の誕生や、その後の運営にかかわり、歩みをずっと見守り続けてきた数名の有志があつまり、このたび、製作実行委員会という形で、ファミリーミュージカル「ハンスの冒険」を、未来の子供たちに伝えていく活動をはじめることになりました。

大きな資本もなくさやかに始まる私たちの活動ですが、ハンスとその仲間たちの冒険の旅から生まれた笑いと感動が、これからも多くの人々の心を癒し、社会の片隅を明るく照らしていくことができれば、これに勝る喜びはありません。少しずつ、できることから、ゆっくりに着実に。私たちの活動が始まることを、ここにお知らせいたします。

2010年2月1日

ファミリーミュージカル「ハンスの冒険」製作実行委員会

発起人(五十音順) 赤木美子、瀬川佳英、榎原愛、八幡茂、横山鐘一、横山由和



2010年5月8日～9日 川崎・新百合ヶ丘での復活公演について

川崎・しんゆり芸術祭 2010 新百合ヶ丘・昭和音楽大学スタジオ

公演の第1部は、アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険 ～裸の王様編～」。
コインをいれたり、ジャンケン大会にみんなで参加して、舞台と客席が一体となります。



休憩をはさんではじまる第2部は、こどもたちが一緒に参加できるシーンがいっぱい。歌の姉さんと歌ったり、積み木の絵合わせ、ミーニャになって魔法をかけたり、ハンスたちといっしょに体操も。あっという間に時間がたちます。



5 / 8 / 5 / 9
 日 / 日 / 日 / 日

2回公演 (両日とも)
 第1回 11時00分開演(10時30分開場)
 第2回 14時00分開演(13時30分開場)

昭和音楽大学
 北校舎第1スタジオ

「ハンスの冒険」&「ハンスと遊ぼう」

ハンスの冒険 The Adventure of HANS VOL.1



©TIKAKU

出演/ハンス：清水由樹
 ビビン：足立龍児
 ビギー：秋本晋作
 蝶・兵隊：鈴木英恵
 司会：大嶋奈緒美
 内容/第1部「ハンスの冒険」
 第2部「ハンスと遊ぼう」
 スタッフ
 脚本・演出/横山由和
 振付/瀬川佳英、酒井麻也子
 音楽/八幡茂
 制作/横山鐘一、宮崎詩子

あらすじ

アンデルセンの空想から飛び出した素敵な素敵な物語。
 お家がどこなのか忘れてしまったハンス少年。ママに会うために冒険に出たら……!?
 第2部では、ハンスの仲間たちとみんなで唄って踊って楽しもう!!

PROFILE プロフィール

■横山由和

桐朋学園大学演劇科を卒業後、1977年に劇団音楽座を結成。『ヴェローナ物語』『組曲・楽園』『闇夜の祭り』『夢の降る街』等のミュージカルの脚本・演出を手掛ける。以降、音楽座解散まで、座付き作家兼演出家となる。主な作品に「シャボン玉とんだ宇宙(そら)までとんだ」「とっともゴースト」「アイ・ラブ坊ちゃん」「マドモアゼル・モーツァルト」「星の王子様」等がある。また、83年より98年までNHK「おかあさんといっしょ」の構成を担当。96年4月、オリジナルミュージカル劇団「Steps」(Stepsエンターテインメント)を結成。全てのStepsミュージカル作品を手掛ける中、ミュージカルのみならず、児童劇・オペラ・各種イベント等、幅広い分野で構成・脚本・演出家として活躍している。また、各地域への演劇普及、ワークショップ講師としても精力的に活動している。Stepsエンターテインメント代表、昭和音楽大学准教授、桐朋学園芸術短期大学専攻科演劇専攻講師。



清水由樹



足立龍児



大嶋奈緒美



秋本晋作



鈴木英恵






ハンスの冒険公演は、今回の川崎公演のように、1時間(ミュージカル+ミニコンサート)を、1日2公演行うプログラムのほかに、たとえば、30分公演を(ミュージカルのみ)1日3回公演するなど、主催者のご都合や、会場の仕様に合わせて、公演形態をアレンジすることが可能です。



ハンスの冒険をまだ知らないあなたのために。 2008年制作資料より

- ◆ アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」は、倉敷チボリ公園を訪れるこどもたちのために、脚本・音楽・衣装・キャラクター設定も含め、すべて、オリジナルで制作された、いわば「日本発・倉敷ブランド」のライブエンターテイメントです。
- ◆ 単純な舞台装置は、見立て遊びの得意なこどもたちの「想像力」をかきたてます。物語にこめられた普遍的なメッセージは、こころを癒し元気を与えてくれます。
- ◆ 開園から4年間、毎日のように園内のこども劇場で上演され、たくさんの笑いと涙が、ハンスの冒険の旅のなかから生まれてきました。
- ◆ 多くの人々に愛され親しまれながら、中止となっていた伝説のミュージカル。「はだかの王様編」「にんぎょ姫編」の2作は、チボリ公園の10周年である2007年に再演され、さらに同期間に、待望の「完結編・赤いくつ編」の制作・上演も果たしました。
- ◆ アンデルセン童話をモチーフに、童話の故郷・岡山で誕生した「ハンスの冒険」は、こどもに体験させたい、おとなでももう一度観たいと思わせる魅力にあふれています。



- Vol.1 裸の王様編  旅に出たハンスはおもちゃの王様の無理な注文に困って…。▲写真上
- Vol.2 人魚ひめ編  海の旅に出た仲間たち。嵐の海で人魚ひめを悪い魔女から救おうと…。
- Vol.3 赤いくつ編  みんなの探し物は意外な場所に隠されていた。いっしょの旅の結末は？



Vol.2 人魚ひめ編

2作目で登場した人魚ひめのルルルと、猫の魔女のミーニャ。初演時にこの作品だけビデオ化されていたため、ファン層が広く、初演を知らない年代のちいさな子供たちにも人気だった。



Vol.3 赤いくつ編

ハンスの赤い帽子、チューリップのアップリケ、ピットのバック、ミーニャの黒猫の杖、王様のコインなどなどキャラクターの小道具を子供のために手作りする親も。



息が出来る不思議な海底の洞窟。そこには人魚姫が…。



赤い靴を履いたミーニャ。ダンスがとまらない！

「ハンスの冒険」のキャラクターたち

魅力的な出演者たちは劇場を飛び出して、
二次元キャラクターとしても活躍しています。



ハンスとピット ◆◆◆◆ いつも「まぬけのハンス」なんてからかわれる、ひとり立ちできないダメな奴。でも心のやさしい純朴青年だ。出稼ぎの帰りに迷子になり家とママを探している。とってもおしゃべりな、みにくいアヒルの子、ピットとは、旅の途中、出会ったらしい。

ピピン ◆◆◆◆◆◆◆◆ 親指姫に出てくるあのヒキガエル。実はわがままで自分本位なある国の王子様。森の精に魔法をかけられ、ヒキガエルに変えられてしまったが、本人はそのことを知らない。親指姫のことは今でも忘れられず、親指姫の愛を探しに旅に出る。

ピギー ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 実はおもちゃの国の王様。ケチで欲が深いので、森の精にブタの貯金箱に変えられてしまった。体の中に金貨を入れて貯めこんでいるが、なぜか満足感がない。わがままだけど寂しがり屋。いつもとってもおしゃべり。



兵隊 (Vol.1) ◆◆◆◆◆◆◆◆ ピギーの家来。わがままな王様にいつも振り回されている。

蝶々 (Vol.1) ◆◆◆◆◆◆◆◆ ハンスとは旅の始まりで出会う。踊りが上手で、とってもきれいな。

ルルル (Vol.2&3) ◆◆◆◆ ハンスたちが、海の冒険で出会った人魚姫。でも実は…。

ミーニヤ (Vol. 2&3) ◆◆◆◆ ルルルを人魚に変えた悪い魔法使い。でも本当は…。



チカクの公式サイトで稼働中のフラッシュ紙芝居（左の絵）右側の道を歩くハンスが音楽に合わせて動き、左の木枠の中の紙芝居の絵が変わります。

ぬくもりを感じる ゆるゆると伸びる

月刊ミュージカル編集長 瀬川 昌久

倉敷手ボリ公園では、テ意味で期待を裏切られるた
ンマーク・チボリの伝統に
なら、開園以来数多くの
エンターテインメント・シ
ョーを上演している。特に
毎日三、四回の公演を年間
を通じて続けている二つの
レキエラミュージカルの
人気が高い。いわゆる地方
都市のテーマパークにお
りおちイベント・ショと
思っ観(み)るとい



「新・手ボリの森の12ヶ月〜いのちほめぐ〜」
の一場面

ている。
物語は、少年ハンスが、
豚の貯金箱ピキやカエル
のヒンと旅に出かけ、海
を舞台に人魚姫のルルや
魔女のミニニヤに出会ふこ

まず、ファミリー・ミ
ュシカル「新・ハンスの冒険」
は好評だった前作をしのぐ
出来栄まで、ますます「大
人も楽しめることも劇場」
として定着し、人気を博し

「倉敷手ボリ公園のシヨ
ー」
大都市でも見られぬ上質と

ころから始まる。小さな野
外劇場でハンスと仲間たち
が客席に呼びかけながら、
嘘(うそ)をついてひとを
だますと良い結果ならぬ
こと、善悪で正直であるこ
との大切さを学ばせられる
ように、上手に物語を進め
ている。

目の肥えたミュージカル
ファンでもびっくりする
ほど豪華なショーに仕上
ったのが、カルゲバレン劇
場で上演されている「新・
手ボリの森の12ヶ月〜いの

ちほめぐ〜」。アンデル
センを基に役で繰り出す
動物たちが虫たちが楽しい
シヨを繰り広げる。

明四・女八人の合計十二
人の出演者が、全六幕、ま
まさまざまな役柄に早変わりす
る。衣裳と舞台美術がど
も美しい。たとえば、彼ら
の舞らす手ボリの森の四季
の移り変わりが舞台の前・
中央・奥の三段につるされ
た紗(しや)幕に静止画像
と動画を組み合わせた巧み
な演出で映し出される。自
然の風景をたどるなら
ら、それを超越した美し
さを感ぜさせる演出だ。

舞台転換の手際の良さに
引き込まれ、いつしか劇場
全体が森のなかなとなり、観
客はファンタスティックで
深遠なテーマのひとつま
なる。自然やそと育(は
ぐ)まれるいのちの美し
さ、響き、繰り返す歌のな
かでつたえられるメッセ
ジは、意外と軽やかに心の
なかに落ちてくる。安らぎ
を求めて公園を訪れる人だ
ちは、ショーを最後まで
あと、それぞれの心のな
かに何か大切なものを取
ったことに気づくのだら
う。

音楽は八幡房。作曲した
十数曲の歌と笛つりやア
クロバットを加えた垣方満
点のダンス。わずか三分の
舞台でありながら、東京で
もなかなかお目にかかれ
ないような最新技術を応用し
た舞台作りに加え、力豊の
あそびダンス、役者が、ど
ちらの劇場にも揃(ぞろ)
っている。機能的に解しい
条々の劇場ながらよここ
まで作りこんだものであ
る。

客席と舞台が一つになる
本格的なミュージカルとゴ
ンサート。倉敷に毎日、新
しい地域文化が息づいて
いる。



ご参考②
山陽新聞
2007年1月7日



山陽新聞
2009年2月19日

チボリ文化引き継ぐぞ

元従業員・赤木さん 倉敷に「受け皿会社」設立

チボリの文化財産を次世代に。昨年末で閉園した倉敷チボリ公園の元従業員赤木美子さん(48)は「総社市泉」が、子ども向けイベントやカルチャー講座などのソフト事業を引き継ぐ受け皿会社「チカク」を倉敷市に設立。公園が担ってきた公益活動を継承し、市民の生きがい創出や子育て支援、市街地の活性化を目指す。

子ども向け 催しや教室

一般社団法人(非営入居。スタッフは公園利型)として昨年末にで業務経験がある女性登記し、今月六日からを中心とした約十人市のインキュベーション。園跡の近くで、チボリ(起業支援)施設。精神の核を残したい」イース(同市阿知)になどの思いを込めた。



設立した「チカク」事務所でデスクワークをする赤木さん

現在は、天満屋倉敷ダイバー作りなど五教科六階・市男女共同参室を運営。今後、児童画推進センター(同所)の仕事を応援する体験で、公園で開講して、教室「宿題応援団」や、淡彩スケッチ画やアート芸術をテーマに大学生

らと遊ぶ「チルドレンズ・アート・プロジェクト」といった公園で行われてきた期間限定イベントにも取り組む。代表理事を務める赤木さんは、公園の元アシスタントマネージャー。閉園が決まった昨年八月以降、「ハードが無理ならせめてソフトだけでも守りたい」と受け皿組織の設立を決意。休日のたびに起業関連セミナーを聴講したり、行政や財界関係者に相談するなど培ったノウハウや人脈を駆使し、経営には素人ながら「公園の夢と感動を引き継ぐ舞台」(赤木さん)を整えた。

第一弾イベントとして童話作家アンデルセンの誕生日(四月一日)に合わせ、JR倉敷駅北口橋上デッキで童話の読み聞かせ会などを計画。赤木さんは閉園後に私たちができることを考えたかった。威力だけど倉敷を明るく元気にしたい」と話している。同社ホームページ(H P)は「http://www.akmokuaku.com/」。閉鎖した同公園の公式HPブログの一部も閲覧できる。問い合わせは、赤木さん(080-2900-8110)。(大橋洋平)

2009. 2. 19
山陽新聞

